



けんこう
散歩道「春」

「ふるさと詩情公園」(田布施町)

春といえば「さくら」！今回は、さくらが満開の「ふるさと詩情公園」に行ってきました。

知っ得情報！

駐車場：有（4カ所）

トイレ：有（2カ所）

所在地：山口県田布施町下田布施

「ふるさと詩情公園」は、田布施川河岸を気持ちよく歩けるように、山口県と田布施町が一体で整備を進め、管理している公園になります。

今回は、この公園の整備・管理をされている「田布施町役場 建設課」の「川添課長さん」に公園を案内していただきながら、童謡・唱歌の歌碑1番30番 1番（右図）の順路を歩いてきました。

取材の日（4月上旬）は天気も良く、桜も満開でしたヨ！！



「田布施町役場ホームページより」(<http://www.town.tabuse.lg.jp/>)

「SAKURA」咲く

身近で懐かしいメロディに感動



桜満開のさくら橋横で、今回、案内いただく川添課長さんをパシャリッと撮影して、園内散策のスタートです！

ハミングロードを歩き出すぐ、「童謡・唱歌の歌碑」が見えてきました。（上記地図のとおり）歌碑は、園内に26基設置してあり、このなかの10基には、田布施ライオンズクラブが寄贈されたミュージックボックスが付いています。ボックスのボタンを押すと音楽を聴くことができ、（上記地図のマーク）早速、川添課長さんが音楽を流してくださいました。色々な楽器を使った綺麗なメロディに取材スタッフ感動！！



この歌碑の歌は、子供には身近・大人には懐かしく感じてもらうことを目的に設置されているそうで、園内では、歌碑を囲んで懐かしそうにお話をされているグループも見かけました。今後、4基設置が予定されています。（歌碑の詳細については、田布施町役場ホームページをご覧ください。）

田布施川の清流とともに…

ゴール地点は「絶景」！



さて、公園から見える田布施川もとても綺麗でした。河川については、県の「ふるさとの川整備事業」の一環で、芝生を植えたり小川を作ったりして、山口県が整備を進めているそうです。人工の小川は、夏には見ているだけで涼めそうです。

また、取材したこの日は、お弁当持参でお花見をされている方を多く見かけましたが、歌碑のなかには、「さくら」の曲もあり、この曲を聴きながら花見をすると、これまた趣がありました。



役場を越えたあたりから、坂を上るルートになってきました。なだらかではありましたが、続く上り坂に身体もだんだんと暑くなります。あまりの暑さに川添課長さんも上着を脱がれましたが、課長さんは健脚でスムーズに坂を上っていかれました。ようやく坂を上ったところからは、遠くまで見渡せる「絶景」が広がりました！

～まんぼちゃんからのメッセージ～

公園が「キレイ」な理由

歩いていると、公園のどこを見てもキレイに管理されていることに気がつきました。川添課長さんによると、5月～10月の第4日曜日に、ボランティアの方が草を刈ったり、毎週月曜日の朝、田布施町職員の方がゴミ拾いの巡回をされたりしているそうです。なるほど～。「キレイ」に保たれている理由はここにあるのですね！



桜の花も『キレイな環境を保つてくれてありがとう』と嬉しそうに言っているように、春風に揺れていました。



川添課長さんには、歌碑30番まで案内いただきました。（お忙しい中、本当にありがとうございました。）このあと、私たちはスタート地点にまで歩いて戻り、公園を満喫しました。園内には、この他、遊具やボールの壁打ち板もあり、スポーツができる設備も整っています。また、桜やバラ、あじさい、つつじ等、色々な植物もあり、それぞれの開花時期には目を楽しませてくれそうです。今回取材をした「ふるさと詩情公園」は、幅広い年齢の方々に四季を通じて楽しんでいただける「健康スポット」としてお勧めです！

今回の歩数は、**約2,900歩**だワン！



まんぼ

（取材スタッフの歩数計による）